

・北海道支部大会・シンポジウム「東日本大震災と北海道・東北の水産業―被害状況と復興方策―」（平成 23 年 11 月 25~26 日）

平成 23 年度日本水産学会北海道支部大会の開催について

北海道支部支部長 板橋 豊

本年度の北海道支部大会を下記のとおり開催しますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日 程 平成 23 年 11 月 25 日(金)午後、26 日(土)午前・午後

会 場 北海道大学大学院水産科学研究院（函館市港町 3-1-1 TEL 0138-40-5505） JR 函館駅からバス 30 分

プログラム

11 月 25 日

午 後 シンポジウム 東日本大震災と北海道・東北の水産業―被害状況と復興方策
企画責任者 上田 宏（北大フィールド科セ）

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 北海道の水産業の被害状況と復旧対策について | 幡宮輝雄（道水産林務部） |
| 2. 岩手県の水産業の現状、特にサケ漁業について | 清水勇一（岩手水技セ） |
| 3. 宮城県の水産業の現状（仮題） | 高橋清孝（宮城水技セ） |
| 4. 大震災後の復旧・復興に向けた水産海洋の課題 | 桜井泰憲（北大院水） |
| 5. 北海道・東北の復興方策 | 宮下和士（北大フィールド科セ） |
| 6. 東北の復興方策 | 大竹二雄（東大大気海洋研） |
| 7. 総合討論 | |

企画の趣旨

本年 3 月の東日本大震災により、北海道から千葉県の水産業に甚大な被害が発生し、水産関係の総被害額は 1 兆 2 千億円に達すると報告されている。水産庁が水産復興マスタープランを作成し、水産を構成する各分野を広く見渡し、地元の意向を十分に踏まえ、全体として我が国水産の復興を推進しようとしている。

北海道と東北各県の水産業は、これまで幅広い分野で密接に連携したり、ライバルとして競合してきたと考えられる。本シンポジウムでは、東日本大震災により北海道・東北における水産業の

被害状況を把握するとともに、北海道・東北の水産産業を復活・振興させるために考えられる方策を、それぞれの専門の立場から講演してもらうことを企画した。

夕 刻 会員交歓会（北海道大学大学院水産科学研究院）

11 月 26 日

午 前 支部評議会 一般研究発表

午 後 支部総会

若手の会企画講演会 養殖魚での TILLING による品種作製技術の開発

吉浦康寿(養殖研)

一般研究発表 申し込み方法

1. 郵便, FAX または e-mail にて, 氏名, 所属, 連絡先 (住所・電話番号・FAX 番号・e-mail アドレス), 一般研究発表の有無 (有の場合は演題名も), シンポジウム・若手の会講演会・交歓会・エクスカーショ等の出欠を下記の申し込み先宛にお知らせ下さい。

2. 申し込み・要旨締め切り日 平成 23 年 10 月 31 日 (月)

3. 参加費等 大会・交歓会参加費は, 当日会場で徴収します。

講演要旨集代 1,000 円 ただし, シンポジウムへの一般参加者は無料とします。

交歓会 3,000 円 (北海道大学大学院水産科学研究院 函館市港町 3-1-1

TEL 0138-40-5505)

4. 申し込み先

〒041-8611 北海道函館市港町 3-1-1

北海道大学大学院水産科学研究院

平成 23 年度北海道支部大会事務局 井尻成保

TEL (0138) 40-5617 FAX (0138) 40-5545 e-mail : ijiri@fish.hokudai.ac.jp

※ 支部会員には封書にて案内を送付します。また, プログラム・発表方法・要旨作成等の詳細については, 日本水産学会北海道支部のホームページ (<http://jsfs-h.fish.hokudai.ac.jp/>) をご覧下さい。